

# ECU故障、未然に防ぐ

## ウィッツなど 基盤ソフト開発へ

【名古屋】ウィッツ(名古屋市中区、脇田周爾社長、052・220・

1218)と名古屋大学は23日、電子制御システム

の故障を未然に防ぐ基盤ソフトを開発に着手したと発表した。次

世代自動車の制御システムなど向けで、2013

年度の完成を目指す。開発には産業技術総合研究

所も加わるほか、トヨタ自動車やアイシン精機、

オークマなどがアドバイザとして支援する。

開発するソフトには故障を検出するだけでなく、故障を未然に防止したり他への波及を防止したりする機能を持たせる。11年に発効予定の自動車の機能安全の国際規格「ISO26262」に対応させる予定。完成すれば国内初という。

これまでのソフトでは発生した故障の検出しか

できなかった。自動車は搭載する電子制御ユニット(ECU)の数が増え、安全対策が重要性を増しており、新たなソフトの開発に乗り出す。